

ネイチャーポジティブ

リスクおよび機会

TNFD(自然関連財務情報開示タスクフォース)提言で推奨されるシナリオ分析を導入し、リスクおよび機会を特定して、それに対する取り組みを行っています。TNFD提言の推奨開示項目に対する対応状況の詳細は、当社WEBサイトに掲載しています。

	リスク・機会	対応
機会	生物多様性保全活動の積極的な取り組みによる、ステークホルダーからの評価向上	・地域に貢献する生物多様性保全活動の推進
機会	自然・生物多様性保全対応の情報開示による資金調達安定化	・あいち生物多様性企業認証の取得 ・HP、統合報告書による情報開示
機会	生物多様性保全に貢献する製品開発による受注拡大	・新規事業への積極的な参入
リスク	自然環境の喪失により、自然資源が使用できなくなることによる製品製造停止	・森林資源の持続性に配慮した利用
リスク	河川放流水の水質規制強化により、放流できなくなることによる工場操業停止	・法規制動向の把握 ・水質管理の徹底

地域との連携活動

自然・地域と共生する企業をめざし、各拠点で地域と連携した活動を継続的に実施しています。本社工場所在地の愛知県大口町や隣の江南市では、特定外来種「オオキンケイギク」の駆除活動を行政や近隣企業と連携し、地域での根絶に向けて取り組んでいます。年々参加者も増えてきており、エリアを広げながら活動を進めています。また、地元の子どもたちに生物多様性について学んでもらうため、近隣の大口西小学校にあるビオトープの維持管理活動に参画し、小学校や地域住民と連携した取り組みも行っています。

豊田工場では、豊田市や地域の保存会と連携して矢並湿地の保全活動を継続的に実施しています。矢並湿地は、「東海丘陵湧水湿地群」の一つとして「ラムサール条約」に登録されている湿地です。絶滅危惧種のシラタマホシクサやミカワシオガマなど、希少生物・植物も生息しており、湿地の富栄養化を防ぐために、枯れ葉の撤去などの活動を行っています。



ビオトープ保全活動



オオキンケイギク駆除活動

生物多様性保全に貢献する製品の開発

特定外来生物アルゼンチンアリの駆除剤「ぷりっとベイト」を開発し、行政の方への販売を開始しました。アルゼンチンアリは世界の侵略的外来種100種(国際自然保護連合)に指定され、高い攻撃性と異常な繁殖力により世界中で生態系を破壊している危険な特定外来生物です。日本でも生息地を広げており、生物多様性が失われる一因となっています。当社は、岐阜県可児市とアルゼンチンアリの防除に関する連携協定書を締結し、アルゼンチンアリの生息調査や防除作業に取り組んでおり、その防除作業において、「ぷりっとベイト」を活用し、アルゼンチンアリの生息分布を大幅に縮小させることに成功しました。

一般的に使用されている駆除エサ剤は粒体や半固体ペーストですが、ぷりっとベイトは、当社の自動車部品製造業として培ってきた知見・技術を活かしグリースを基材としているため、樹木、ブロック塀、石垣など垂直な場所にも塗布が可能で、風や水にも流されにくく、さまざまな場所への直接塗布が可能です。今後も、特定外来種の駆除活動に苦勞されている各行政・各地域の方々と連携し、生物多様性を守る取り組みに貢献していきます。



塗布した「ぷりっとベイト」に群がるアリ



駆除剤「ぷりっとベイト」

あいち生物多様性企業認証

外来種の駆除や、希少種の保全、生態系ネットワークの形成など、生物多様性に貢献する幅広い活動が認められ「あいち生物多様性企業認証」の優良認証を取得しました。今後さらに生態系ネットワークを広げていくため、自社敷地内で地域の目標種が生息できる環境の整備を進めていく予定です。



あいち生物多様性
優良認証企業

オールトヨタ グリーンウェーブプロジェクト

人と自然が共生する未来づくりを目的に活動している「オールトヨタ グリーンウェーブプロジェクト」に参画しています。トヨタグループ各社と取り組みを共有し、協働で活動を行うことで、活動の輪を広げ、生物多様性の保全を効果的に進めています。

